WinBook Slim
ユーザーズガイド補足説明書

この冊子は、WinBookSlimの内部プログラムであるシステムコンフィグレーションを使って、本体システムの設定を変える方法や、パワーマネージメント機能の設定を変える方法について説明しています。
必要に応じてお読みください。

1. システムコンフィグレーションの設定……………2
2. パワーマネージメント機能の設定………………9
3. 設定内容と初期値一覧 ……………………………12

システムコンフィグレーションの設定

本製品では、コンピュータの動作状態や環境設定があらかじめコンピュータの中に記憶されており、電源をONにしたときに読み込まれるようになっています。ここでは、これらの設定を変える方法について説明します。

システムコンフィグレーションについて

システムコンフィグレーションとは、コンピュータの動作状態や環境設定を設定したり、現在の設定を確認するためのプログラムです。

ここでは、次のような機能の設定が行なえます。

- ・カレンダの日付と時間を設定する(➔4ページ)
- ・起動方法と起動ドライブを設定する(➔5ページ)
- ・通信ポートを設定する(➔5ページ)
- ・プリンタポートと動作モードを選択する(➔5ページ)
- ・キーボードの動作を設定する(➔6ページ)
- ・パスワードを設定する(➔7ページ)
- ・ディスプレイモードを設定する(➔7ページ)
- ・システムの情報を表示する(➔7ページ)
- ・設定をデフォルト状態に戻す(➔8ページ)
- ・LCDカバーを閉じたときの動作を設定する(➔9ページ)
- ・パワーマネージメント機能を設定する(➔10ページ)
- ・サスペンド機能を設定する(➔10ページ)
- ・グローバルスタンバイ機能を設定する(➔10ページ)
- ・レジューム機能を設定する(➔11ページ)

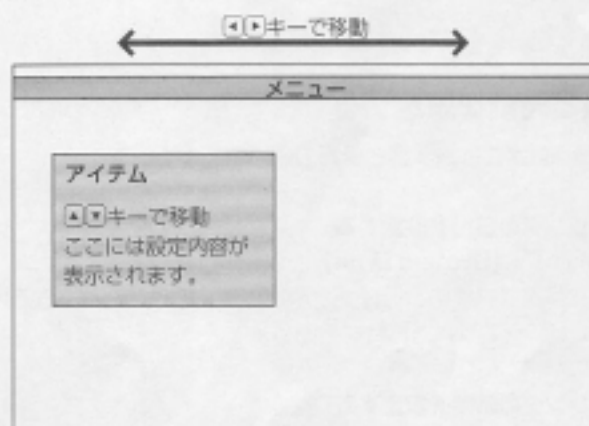
メニューと操作方法について

メニューを表示させるには…

システムコンフィグレーションは、メモリに常駐しているプログラムです。
このプログラムを起動させるには、コンピュータの電源をONにした後の画面下に「Press <F2> to Enter Setup」と表示されている時、F2を押します。

Windows®95が起動している状態からは、システムコンフィグレーションの設定は行なえません。必ずWindows®95が起動する前にこの操作を行なってください。

操作方法は…

画面の一番上にはメニューがあり、下には現在の設定状態の一覧が表示されています。設定項目は◀▶キーでメニューを選び、▲▼キーを押すとアイテムを選択でき設定を変更できます。反転表示されている部分が現在選択されている項目です。各項目の前に「▶」がついているものはさらにサブメニューが含まれている事を示しています。

《項目の選択・設定の方法は》

- メニューを選択するには……………………[◀][▶]キーで移動
- アイテムを選択するには……………………[▲][▼]キーで移動
- アイテム内を移動するには……………………[Tab]または[Shift][Tab]
- サブメニューへ移動するには……………………[↵]
- サブメニュー・メニューからの退避……………………[Esc]
- 設定を変更するには……………………[-]/[+]
- 各メニュー内のみをデフォルト時の状態に戻すには……………………[F9]
- 各メニュー内のみセットアップ内に入った時の状態に戻すには…[F10]
- 終了するには……………………Exit

《設定を変更して終了させるときは》

【Save Changes & Exit】を選択して[↵]キーを押すと、次のメッセージが表示されます。

もう一度[↵]キーを押すと、変更された設定がメモリに記憶されてシステムコンフィグレーションが終了します。

```
Changes have been saved
```

《設定を無効にして終了させるときは》

【Discard Changes & Exit】を選択して[↵]を押し、もう一度[↵]を押すと変更された設定が記憶されずにシステムコンフィグレーションを終了します。

日付と時刻を設定する

選択項目はメニュー、アイテムの順で表記しています。

● カレンダの日付を設定する

【Main】-【System Date】

現在設定されている日付が表示されますので、Tabキーで項目を移動し、数字キーまたは[-]/[+]キーで日付を入力します。

● カレンダの時間を設定する

【Main】-【System Time】

現在設定されている時刻が表示されますので、Tabキーで項目を移動し、数字キーまたは[-]/[+]キーで時間を入力します。

起動方法を設定する

● 起動ドライブを設定する

【Main】-【Boot sequence】-「Boot sequence」

起動するドライブを、フロッピーディスク、ハードディスクのいずれかから選びます。

「A: then C:」を選ぶと、フロッピーディスクをセットしているときはフロッピーディスクから、セットしていないときはハードディスクからシステムが起動します。「C: then A:」または「C: Only」を選ぶと、フロッピーディスクをセットしているいないにかかわらず、ハードディスクからシステムが起動します。

各種入出力ポートを設定する

●シリアル通信／赤外線通信ポートを選択する

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「Com port」

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「IrDA port」

外部シリアル通信ポート(Com Port)は通常COM1(3F8h)で、使用するアプリケーションにより変更が必要なときはCOM2(2F8h)、COM3(3E8h)、COM4(2E8h)から任意に設定できます。IRQチャネルは通常4です。

赤外線通信ポート(IrDA Port)は通常COM2(2F8h)で、使用するアプリケーションにより変更が必要なときはCOM1(3F8h)、COM3(3E8h)、COM4(2E8h)から任意に設定できます。

使用しないよう特に設定したい場合は「Disabled」を選びます。IRQチャネルは通常3です。

⚠注意 **シリアルポートと赤外線通信ポートのポート番号は重ならないように設定してください。なお、COM1(3F8h)とCOM3(3E8h)またはCOM2(2F8h)とCOM4(2E8h)は同時使用できません。**

● プリンタポートと動作モードを選択する

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「LPT port」　I/Oアドレス設定

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「LPT mode」　動作モードの設定

I/Oアドレスは通常はLPT1(378h)に設定します。使用するアプリケーションにより、変更が必要なときはLPT2(278h)、LPT3(3BCh)に設定を変更できます。動作モードは、通常「ECP」に設定します。

Note 起動ドライブについて

デフォルトでは、ドライブCのハードディスクからWindows®95が起動する設定になっています。
(C: then A:)

Note プリンタポート

本製品のプリンタポートはEPPとECPに対応しており高速転送が可能です。
EPPはXIRCOMが推奨している規格です。ECPはIEEE1284準拠で提唱されている規格です。

● オーディオ出力を設定する

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「Audio I/O Address」　I/Oアドレス設定
【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「Audio IRQ Number」　IRQチャネル設定
【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「Audio DMA Channel」　DMAチャネル設定
通常はI/Oアドレスを「220h」、IRQチャネルを「IRQ5」、DMAチャネルを「DMA1」に設定します。

● PCカードスロットをカードバス対応にする

【Advanced】-【Integrated Peripherals】-「CardBus Native Mode」
カードバスを使用するかしないかを設定します。
カードバス対応にした場合は、カードバス未対応のPCMCIAカードは1枚しか使用できなくなります。デフォルトはカードバスを使用しない設定(Disabled)になっており、カードバス未対応のPCMCIAカードは2枚使用できます。

入出力デバイスを設定する

● キーボードの動作を設定する

【Main】-【Numlock】
-「Numlock」　起動時のNumlockキーの有効/無効設定
-「Key Click」　キータイプ時のクリック音の有無設定
-「Keyboad autorepeat rate」　オートリピートの間隔を設定
-「Keyboad autorepeat delay」　オートリピートが始まるまでの遅延時間設定
システム起動時にNumLockキーを有効にしたり、文字の入力時にクリック音がなるように設定できます。
また、オートリピートの間隔や、オートリピートが始まるまでの遅延時間を設定できます。間隔は2cps(2文字/秒)から30cps(30文字/秒)までの範囲で設定します。遅延時間は、1/4秒(250ms)から1秒(1000ms)までの範囲で設定できます。

● フロッピーディスクのモードを設定する

【Main】-【Diskette A:】
3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応のフロッピードライブにするかどうかを指定します。通常3モード時は「1.44MB,3 1/2」に設定します。

Word　オートリピート

ほとんどのキーは、押し続けることで連続してその機能を実行したり、文字を入力することができます。このように、何度も続けて押したときと同じ状態になることを「オートリピート」といいます。

パスワードを設定する

● パスワードを設定する

【Security】
-【Set Supervisor Password is】
-【Set User Password is】

いずれの場合も、パスワードに使用できるのは英、数字のみで、1文字から8文字の長さで設定します。
パスワードの解除は入力画面で⏎キーを押します。

```
Enter new Password:_______
```

⚠注意　パスワードはメモを取るなどして忘れないようにしてください。忘れた場合は、ソーテックテクニカルサポートセンタまでご連絡ください。

● 起動時にパスワード入力が必要かどうかを設定する

【Security】-【Password on boot】
システム起動時にパスワードの入力が必要になるよう設定できます。

⚠注意　User Passwordを使用するとドライブA(フロッピードライブ)が使用できなくなるので、個人で使用される場合はSupervisor Passwordをご使用下さい。

表示モードを設定する

● 起動時の表示デバイスを設定する

【Main】-【Display Device】
「Simultaneous」を選ぶと、画面はCRTとLCDの同時に表示されます。「LCD」を選ぶとLCDのみ、「CRT」を選ぶとCRTのみに表示されます。

● テキスト、グラフィックの表示方法を設定する

【Main】-【Text Mode Expansion:】　テキストモード時の表示設定
【Main】-【Grafic Mode Expansion:】　グラフィックモード時の表示設定

テキストモードの表示のときに、画面いっぱいに広げて表示させるかしないかを設定します。グラフィックモードのときは800×600未満の画面表示を行う場合、画面いっぱいに広げて表示させるかどうかを設定します。

システムをチェックする

● 起動時の表示デバイスを設定する

【Main】-【Boot sequence】-「POST Errors」　ブート時の障害チェック
【Main】-【Boot sequence】-「Floppy Check」　FDDの障害チェック

ブート時に障害発生を検出した場合、そのままOSを起動させるか(Abled)、キー入力を待ってから起動させるか(Enabled)を設定します。「Floppy Check」はブート時にFDDの検査を実行(Enabled)します。

システム情報を表示する

● **BIOS、キーボードBIOS、メモリサイズ情報を表示させる**
【Main】-【System Information】
BIOS、キーボードBIOSのバージョン、メモリサイズ等が表示されます。

● **プラグアンドプレイ情報を表示させる**
【Advanced】-【Plug & Play O/S】
Windows95用のプラグアンドプレイの機能が搭載されているかどうかが表示されます。

● **パスワード設定情報を表示させる**
【Security】-【Supervisor Password is】
【Security】-【User Password is】
パスワードを設定しているかどうかが表示されます。

● **ハードウェア構成を表示させる**
【Main】-【Boot sequence】-「Summary Screen」
OS起動前にハードウェア構成情報を表示させます。

システムコンフィグレーションのその他の設定

● **設定をデフォルト状態に戻す**
【Exit】-【Get Default Values】
各項目の設定値をデフォルトに戻します。
各項目のデフォルト値は巻末に一覧で説明しています。

● **設定を画面を開いたときの設定値に戻す**
【Exit】-【Load Previous Values】
各項目の設定値をシステムコンフィグレーションメニューを開いたときの設定値に戻します。

● **設定値を一時的に保存します。**
【Exit】-【Save Changes】
各項目の設定値を一時的に保存します。システムコンフィグレーションメニューは終了しません。【Save Changes】を実行し、その後さらに変更を加えてから【Exit】-【Discard Changes & Exit】または【Load Previous Vallues】を実行すると、SCUに入った時の値ではなく、【Save Changes】を実行した時の値に戻ります。

● **ブート時にF2キーでシステムコンフィグレーションメニューを呼び出すか設定します。**
【Main】-【Setup】
Enabled時 ――――画面に出ている時に[F2]を押すとSCUを呼び出します。
Disabled時 ――――呼び出すことができません。
解除方法 ―――――メモリチェック中にリセットボタン(→ユーザーズガイド18ページの⑭参照)を押す。

パワーマネージメント機能の設定

本製品には、電力の消費を抑えるためのパワーセービング機能や、アプリケーションの実行中に電源をOFFにすると現在の状態をメモリに保存するサスペンド機能が搭載されています。ここでは、システムコンフィグレーションメニューを使って、これらの機能を設定する方法について説明します。
パワーマネージメント機能に関する設定は、システムコンフィグレーションメニューの【Power Savings】から選びます。システムコンフィグレーションメニューの操作方法は、3ページを参照してください。

⚠注意　パワーマネージメント機能を設定した後、設定した内容を有効にするためにコンピュータを再起動してください。このとき、メモリ上に存在していたすべてのプログラムやデータは消失しますので、パワーマネージメントで設定を変える前には、必ず現在のデータをセーブしておいてください。

表示デバイスの動作を設定する

● **LCDカバーを閉じたときの動作を設定する**

【Power Savings】-【Lid Switch】

LCDカバーを閉じたときに、サスペンド機能を働かせるか(Enabled)、バックライトを消す(Disabled)かどうかを設定します。

⚠注意　LCDカバーを閉じた状態で使用するときは内部の熱がこもらないように風通しの良いところでご使用ください。内部温度が上昇しすぎた場合、過熱保護装置が機能し、システムの動作が遅くなります。この場合、電源をOFFにして温度が低下するまで使用しないでください。また、LCDカバーを閉じたまま使用した後、温度が下がらないうちにLCDカバーを開けて使用するとLCD上にムラが現れる場合がありますが、故障ではありません。しばらくすると、ムラは無くなります。

パワーマネジメント機能を設定する

● **パワーマネジメントを設定する**

【Power Savings】-【Power Savings】

- 「Maximum Power Savings」　パワーセーブ再優先
- 「Maximum Perpormance」　処理優先
- 「Customize」　個別に選択
- 「Off」　パワーセーブを使用しない

バッテリで使用しているときのパワーマネジメントを設定します。ACアダプタでで使用しているときにはパワーマネジメントは働きません。

● **処理がないときにCPU処理を停止させる**

【Power Savings】-【Idle Mode】

CPU処理が必要でないときに、CPU処理を中止するかどうかを設定します。

サスペンド機能を設定する

● **サスペンド機能を電源スイッチで実行させるかどうか設定する**

【Power Savings】-【Power Switch】

電源スイッチを押したときにサスペンド機能を実行させる場合は「Suspend/Resume」を、電源のON/OFFのみ機能させる場合は「On/Off」を選びます。

● **オートサスペンド機能を設定する**

【Power Savings】-【Auto Suspend Timeout】

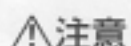
何分後にサスペンド機能を実行させるかどうかを、5～30分の間とoff(動作しない)で設定します。

グローバルスタンバイ機能を設定する

● **グローバルスタンバイにする**

【Power Savings】-【Standby Timeout】

システムが一定時間稼動していないと判断した場合、自動的にシステムの各部品の動作は停止し、ディスプレイ表示も消えます。時間は1分から16分の間とoff(動作しない)で設定します。

キーボードを押したりグライドポイント(マウス)/HDD/FDD/IRQの監視を操作するとグローバルスタンバイは解除されます。

⚠注意　**Windows95を使用している場合、グローバルスタンバイで時間を設定しても、設定通りの時間にならないことがありますが、不良ではありません。**
これは何も入力操作を行わなくても、Windows95自身が自動処理(HDDの自動保存やその他の監視動作)を行うためで、その処理が行われるたびにリセットされてしまうため、おこる現象です。

グローバルスタンバイ動作時のデバイス動作を設定する

● **ハードディスクの電源をOFFにする**

【Power Savings】-【Hard Disk Timeout】

一定時間HDDへのアクセスがないか、ハードディスクが動作していない場合、自動的にハードディスクの電源をOFFにする機能です。このときハードディスクの電源は切れますが、システムの動作は継続しています。時間は10秒から15分の間とoff(動作しない)で設定します。

● **ディスプレイ表示を消す**

【Power Savings】-【Video Timeout】

一定時間キーボードおよびグライドポイント(マウス)からの入力がなかった場合、自動的にディスプレイ(LCD・CRT)の表示を消します。このとき、表示は消えていますがシステムの動作は継続しています。時間は10秒から15分の間とoff(動作しない)で設定します。

● **CD-ROMの回転を停止させる**

【Power Savings】-【CD-ROM Timeout】

一定時間CD-ROMへのアクセスがなかった場合、自動的にCD-ROMの回転を停止させます。このときCD-ROMの電源は切れますが、システムの動作は継続しています。時間は10秒から15分の間とoff(動作しない)で設定します。

レジューム機能を設定する

●**レジューム時間を設定する**

【Power Savings】-【Resume Time】

レジュームさせる時間を時：分：秒で設定します。

●**レジューム時間を設定する**

【Power Savings】-【Resume On Time】

【Power Savings】-【Resume Time】で設定した時間にレジュームさせるかどうかを設定します。

警告音を設定する

●**ローバッテリ状態のときビープ音を鳴らすか設定する**

【Power Savings】-【Low Battery Beep】

バッテリがローバッテリ状態のとき、警告音を鳴らすか、鳴らさないかの設定を行ないます。有効(Enabled)にすると警告音が鳴ります。

Note **クロックスピードが落ちると困るときは**

メモリの中だけで計算を行なうようなプログラムを実行している場合にグローバルスタンバイの設定を行なっていると、稼働状態に検出が正しくできないことがあり、グローバルスタンバイ状態になってしまうことがあります。このようなときは、無効(Disabled)に設定してください。

ネットワークを使っている場合

【Standby Timeout】の設定項目はすべて「Disabled」に設定しておくことをおすすめします。

設定内容と初期値一覧

メニュー	アイテム	デフォルト設定値	説明
Main	System Time		時間を設定します。
	System Date		日付を設定します。
	Diskette A:	1.44MB,3 1/2"	フロッピーディスクドライブの種別を設定します。1.44MB,3 1/2(3モード対応ドライブ)を指定してください。
	IDE Adapter 0 Master		
	・Autotype Fixed Disk	Press Enter	前の画面で"None"となっているときに、ここで⏎を押すとHDDの情報が設定されます。
	・Type	Auto	HDDの容量、機能を自動検出します。
	・Cylinders		HDDのシリンダを設定します。通常TypeをAutoにしていればHDDの持つ情報を呼び出していきます。
	・Heads		HDDのヘッドを設定します。通常TypeをAutoにしていればHDDの持つ情報を呼び出していきます。
	・Sectors/Track		HDDのセクタを設定します。通常TypeをAutoにしていればHDDの持つ情報を呼び出していきます。
	・Write Precomp	None	HDDにWrite Precompの設定があるかないかを設定または表示します。
	・Multi-Sector Transfers		Multi-Sectors-Transferで使用するセクタ数を表示します。
	・LBA Mode Control	Enabled	LBA modeの状況を表示します。
	・32 Bit I/O	Disabled	HDDにアクセスする時、32 Bit I/Oで行うかどうかを設定します。この設定はDisableで使用してください。
	・Transfer Mode	Fast PIO 4	HDDの転送モードを表示します。
	IDE Adapter 0 SLave		
	・Autotype Fixed Disk	Press Enter	この機種にはスレーブとしてHDDを持つことができません。この項目については設定しないでください。
	・Type	None	(操作の必要はありません)
	・Cylinders		(操作の必要はありません)
	・Heads		(操作の必要はありません)
	・Sectors/Track		(操作の必要はありません)
	・Write Precomp		(操作の必要はありません)
	・Multi-Sector Transfers	Disabled	(操作の必要はありません)
	・LBA Mode Control	Disabled	(操作の必要はありません)
	・32 Bit I/O	Disabled	(操作の必要はありません)
	・Transfer Mode	Disabled	(操作の必要はありません)
	IDE Adapter 1 Master		
	・Autotype Fixed Disk	Press Enter	この機種にはマスタとしてHDDを持つことができません。この項目については設定しないでください。
	・Type	None	(操作の必要はありません)
	・Cylinders		(操作の必要はありません)
	・Heads		(操作の必要はありません)
	・Sectors/Track		(操作の必要はありません)
	・Write Precomp		(操作の必要はありません)
	・Multi-Sector Transfers	Disabled	(操作の必要はありません)
	・LBA Mode Control	Disabled	(操作の必要はありません)
	・32 Bit I/O	Disabled	(操作の必要はありません)
	・Transfer Mode	Disabled	(操作の必要はありません)

メニュー	アイテム	デフォルト設定値	説明
Main	IDE Adapter 1 SLave		
	· Autotype Fixed Disk	Press Enter	この機種にはスレーブとしてHDDを持つことができません。この項目については設定しないでください。
	· Type	None	(操作の必要はありません)
	· Cylinders		(操作の必要はありません)
	· Heads		(操作の必要はありません)
	· Sectors/Track		(操作の必要はありません)
	· Write Precomp		(操作の必要はありません)
	· Multi-Sector Transfers	Disabled	(操作の必要はありません)
	· LBA Mode Control	Disabled	(操作の必要はありません)
	· 32 Bit I/O	Disabled	(操作の必要はありません)
	· Transfer Mode	Disabled	(操作の必要はありません)
	Video System	EGA/VGA	表示システムを設定します。本機はEGA/VGAです。それ以外は設定しないでください。
	Memory Cache		
	· External Cache	Enabled	キャッシュを使用するかしないかを設定する
	Memory Shadow		
	· System shadow	Enabled	固定です。
	· Video shadow	Enabled	VIDEO BIOS領域をShadow RAMに展開するかしないかを設定します。デフォルト以外の設定を行わないでください。
	Boot sequence		
	· POST Errors	Enabled	ブート中に、障害発生を検出した場合、そのままOSのブートを開始するか、キー入力を待つかを設定します。Enabledでキー入力待ちとなります。
	· Boot sequence	C: then A:	起動時のデバイスを決定します。
	· Floppy Check	"Enabled"	ブート中にFDDの検査を行うか行わないかを設定します。Enabledで検査を行います。
	· Summary screen	Enabled	ブート完了後、OS起動前に、ハードウェア構成を表示するかしないかを設定します。Enabledで表示します。
	KeyBoard	Japanese	日本語キーボードと英語のキーボードの配列を変更します。
	Num Lock		
	· Numlock	Off	起動時にNumlockをOnにしておくかOffにしておくかを設定します。
	· Key Click	Disabled	キー入力時、クリック音を出すか出さないかを設定します。Enabledでクリック音を出します。
	· Keyboard auto-repeat rate	30/sec	オートリピートの間隔を設定します。
	· Keyboard auto-repeat delay	1/2 sec	オートリピートが始まるまでの時間を設定します。
	SETUP	Enabled	ブート時「F2」キーによるセットアップメニューへのジャンプをするかしないかを設定します。
	· Display Device	LCD	起動時のデバイスを決定します。
	Text Mode Expansion :	Disabled	テキストモードの画面表示を行う時、画面一杯に広げて表示するかしないかを設定します。Enabledで拡張表示します。
	Graphic Mode Expansion:	Disabled	グラフィックス表示で800x600未満の画面表示を行う時、画面一杯に広げて表示するかしないかを設定します。Enabledで拡張表示します。
	System Information		BIOS、キーボードBIOS、メモリーサイズなど、システムの状態を表示します。

メニュー	アイテム	デフォルト設定値	説明
Advanced	Integrated Peripherals		
	・COM port	"3F8h, IRQ 4"	COMポートとIRQを設定します。
	・IrDA port	"2F8h, IRQ 3"	IrDAポートとIRQを設定します。
	・LPT port	"378h, IRQ 7"	プリンタポートとIRQを設定します。
	・LPT mode	ECP	プリンタポートのモードを設定します。
	・Audio I/O Address	220h	オーディオコントローラのポートアドレスを設定します。
	・Audio IRQ Number	5	オーディオコントローラのIRQを設定します。
	・Audio DMA Channel	1	オーディオコントローラのDMAを設定します。
	・CardBus Native Mode	Disabled	カードバスを使用するか使用しないかを設定します。カードバスを使用できるようにすると、通常のPCMCIAはカードバスを使用する使用しないは別として1枚しか使用できません。出荷時はPCMCIAが2枚使用できるよう設定しています。
	Plug & Play O/S	Yes	Windows95用にPnP機能が内蔵されていることを表示します。
	Large Disk Access Mode	DOS	使用するOSにより設定します。通常はDOSを設定します。
Security	Supervisor Password is	Disabled	スパーバイザパスワードが設定されているかどうかを表示します。
	User Password is	Disabled	ユーザーパスワードが設定されているかどうかを表示します。
	Set Supervisor Password is	Press Enter	スパーバイザパスワードが設定を設定します解除は入力画面で↵キーを押すと解除されます。その際ユーザーパスワードも設定していると、ユーザーパスワードも解除されます。
	Set User Password	Press Enter	スパーバイザパスワードが設定を設定します。解除は入力画面で↵キーを押すと解除されます。
	Password on boot	Disabled	起動時にパスワードを聞いてくるか聞いてこないかを設定します。
Power Savings	Power Switch	ON/OFF	サスペンドレジュームまたは電源スイッチかを選択します。
	Lid Switch	Enabled	液晶ディスプレイのふたを閉じたときにバックライトを消すか(Desabled)、サスペンドさせるか(Enabled)を設定します。
	Low Battery Beep	Enable	ローバッテリ時のビープ音を鳴らすかどうかを設定します。
	Power Savings	Maximum Power Savings	バッテリ状態でのパワーマネジメントを設定します。ACアダプタでの使用時はパワーマネジメントは効きません。
	Idle Mode	On	CPUのパワーマネジメントを設定します。
	Standby Timeout	6 Minutes	グローバルスタンバイを設定します。 キーボード、マウス、HDD、FDD、IRQの監視を行います。
	Auto Suspend Timeout	10 Minutes	メモリーの一部に最低限の電力だけを残しサスペンドします。
	Hard Disk Timeout	45 Seconds	"HDDのオフタイマーを設定します。HDDへのアクセスで動作を開始します。
	Video Timeout	2 Minutes	表示画面のオフタイマーを設定します。キーボードとマウスのアクセスで動作を開始します。
	CD-ROM Timeout	45 Seconds	CD−ROMのオフタイマーを設定します。CD−ROMへのアクセスで動作を開始します。
	Resume On Time	Off	「Resume Time」で設定した時間にレジュームするかどうか設定します。
	Resume Time	00:00:00	設定した時間にレジュームします。
Exit	Discard Changes & Exit		設定した内容が無効となり、SCUを終了します。
	Save Changes & Exit		設定した内容が記録され、SCUを終了します。
	Get Default Values		各々の設定がデフォルトに戻ります。
	Load Previous Values		設定を変更しても、SCUに入った時の値に戻ます。
	Save Changes		設定した内容が一時的に保存されます。